

● 表彰事業報告

第9回ロボット大賞表彰状授与を挙行

日機連は3月12日(月)、機械振興会館において第9回ロボット大賞表彰式を開催し、日本機械工業連合会会長賞、優秀賞、審査員特別賞の授与が実施された。(文責:日機連)

2020年度・第9回ロボット大賞表彰状授与は新型コロナウイルスの影響を考慮し、各大臣賞(経済産業大臣賞、総務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、国土交通大臣賞)、中小企業庁長官賞は各省庁ごとに授与されることとなった。(受賞機器の詳細は、[日機連週報第3301\(2021年3月12日\)号](#)をご参照ください。)

表彰状授与式では、日本機械工業連合会 大宮会長(三菱重工業株式会社 相談役)の式辞(後述参照)の後、表彰状及び表彰盾の贈呈に移り、日本機械工業連合会会長賞(2件)は大宮会長から、優秀賞(5件)、審査員特別賞(1件)は川村審査特別委員会委員長から各々授与された。授与後、川村委員長から受賞ロボットについての総評があり、各々のロボットの概要説明・授賞の理由などが述べられた。

表彰状授与の様子



大宮会長挨拶



川村審査特別委員長総評



表彰状授与



受賞記念撮影

大宮会長式辞

「第9回ロボット大賞」表彰状授与に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。「ロボット大賞表彰事業」は2006年度に第1回を実施し、今年度は第9回になります。

本事業は経済産業省、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省と日本機械工業連合会が共催しておりますが、日本機械工業連合会は経済産業省と共に幹事を務めております。

今年度は新型コロナウイルスの蔓延のため、まことに大変な1年でありました。ロボット大賞も当初は募集期間を4月7日から6月5日としておりましたが募集締切を3か月延長し8月31日にするなど大きな影響を受けました。

そのような状況にもかかわらず131件もの御応募をいただくことができました。篤く御礼申し上げます。

応募いただいた案件につきまして、審査特別委員会及び審査・運営委員会において、書類審査、現地調査、プレゼンテーション審査、最終審査と厳正な審査の結果、最終的に15件の優れた受賞案件が決定され、本日表彰状授与の日を迎えております。

表彰式は従来、受賞者が一堂に会して挙行されておりますが今年度は、密の状態を避けるため各個別に授与することとしております。本会場では日本機械工業連合会会長賞、優秀賞、審査員特別賞を授与させていただきます。

受賞された15件のいずれも、研究開発・実用化・事業化に携わった方々の優れた創意と、ご尽力が結実したものです。受賞された皆様には心からの敬意を表します。

さて、本日の表彰日を迎えることができましたのは、ご多忙中にもかかわらず多くの時間を割いていただいた両委員会の委員の皆様、優れた案件を推薦していただいたノミネート委員会の方々、ロボット大賞の広報などのために、ご尽力いただいた66団体の皆様など多くの方々の御尽力の賜物であります。この場をお借りして改めて篤く御礼を申し上げます。

最後となりますが、私共は今後とも社会のあらゆる分野でロボットがより一層利活用され、人々の「生活の質」の向上に貢献できるよう、本事業の運営に鋭意努力してまいる所存ですので、変わらぬご協力を賜ることができれば幸いです。

我が国ロボット産業の更なる発展と普及を祈念し、私の御挨拶とさせていただきます。

大変ありがとうございました。

〔デジタルトランスフォーメーション(DX)・技術部〕

